

事業所名 グループホーム あさぎり

作成日：平成 22 年 4 月 4 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 48	集団生活の動きが優先されてしまい、個別対応しきれていないことがある。また、自己決定をしたり、役割を持って様々な面で活動の場を持っていただく支援が行えていない。	利用者の自由な思い、行動や態度を理解し、役割を持っていただくことで発揮できる場面を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の日々の生活スタイルや要望をくみ取り、それをかなえられるように支援していく。外出やショッピングを個別対応で行う機会を増やす。 ・ご本人の出来ること、楽しめることをアセスメントし直し、役割を持って頂き継続して実行する。 	6ヶ月
2	27	ケアの統一が出来ていない。(個人記録の書き方、情報の共有等)	職員一人一人が問題意識を持ち、同じ目標を持つ。また、ユニット毎に話し合いを持つと共にユニット間でも情報の共有を図るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画を確認しながら、ケアを行い記録する。その際モニタリングも意識する。 ・入居者の言動を記録し、考察する。 ・緊急時の情報は書くばかりでなく、気付いた時点で他の職員に話し情報を共有する。 ・業務日誌に情報を集約して記録し、きちんと確認する。 ・ユニット会議や職員全体会議を隔月に行うが、ユニット会議の議事録を他方のユニットにも回し情報の共有を図る。 	6ヶ月
3	40	入居者が好む食事を提供できておらず、また、職員が入居者と共にゆったりと楽しく食事を取ることが出来ていない。	食事を楽しみへとつなげるよう職員が配慮し、工夫していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・食器や鍋等の片付けは後回しにして入居者と共に速やかに食事の席に着くようにする。 ・入居者の好みを把握するための嗜好調査やアセスメントを行う。 ・外食や喫茶に出掛け、好みの物を選択し食事していただく。楽しく食事をする機会の提供。 ・お話をしながら、入居者のペースで食べていただけるよう配慮する。 	6ヶ月
4					ヶ月